

奈良体育学会会報

第96号 発行 奈良体育学会

事務局：奈良教育大学 笠次良爾研究室（〒630-8528 奈良市高畑町）
<https://nspehss.org/> narajimukyoku@nspehss.org

学会大会案内号

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 井上 邦子（奈良教育大学）

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は奈良体育学会の活動に対し、ご理解・ご協力を賜り、まことにありがとうございます。

さてこのたびは、会報「学会大会案内号」をお届けいたします。今年度の学会大会は、11月15日（土）に奈良女子大学キャンパスをお借りし実施いたします。年に一度の学会大会の貴重な機会ですので、学生・院生の方々はもちろんのこと、会員の皆様にも奮ってご参加、ご発表をお願いしたいと思います。またシンポジウムについては、「奈良マラソンの歩みと未来 ― 市民スポーツイベントの持続可能な運営を考える」と題し、林 潤氏（奈良マラソンレースディレクター・事務局次長）、鷹田やゆり氏（奈良マラソン現事務局長）、野田康彦氏（奈良マラソン元事務局長で現奈良県産業創造課長）にご登壇いただき、笠次良爾会員、高橋豪仁会員を交えて討論していただく予定です。奈良マラソンは、古くは1981年「奈良春日・大仏マラソン全国大会」を祖として、2010年に「平城遷都1300年記念事業」の一環としてリニューアルされた大会ということです。その間には新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響を受けることもありながら、現在は1万6千人を超える参加者を数える大会となっています。その大会の実際と今後の展望について、会員の皆様方とともに考えを深めていければと存じます。ぜひ、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

最後になりましたが、今後とも会員の皆様のご協力ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年度奈良体育学会大会に関するお知らせ

令和7年度奈良体育学会大会につきましては、現地（対面形式）での開催を予定しております。

<開催要領>

期 日：令和7年11月15日（土）

会 場：奈良女子大学 N棟 302 教室（奈良県奈良市北魚屋西町）

時 程：12:00～ 受付 / 12:30～ 総会、一般発表、シンポジウム

※演題数等により時間変更や会場追加の可能性があります。午前中から行う場合もあります。
※終了後、懇親会を予定しています。

<一般発表>

一般発表はすべてパワーポイント（スライド）による口頭発表とします。

＜シンポジウム＞

タイトル：奈良マラソンの歩みと未来 ― 市民スポーツイベントの持続可能な運営を考える

テーマ：市民マラソンを軸とした地域づくり・健康づくり・観光振興の可能性と、運営を支える人材・組織体制の課題を共有する。

趣 旨： 市民マラソンは健康意識の高まりから国内では年間およそ 90 大会が開催されている。しかしながら、コロナ禍以降、地方大会などで定員割れが相次ぎ、物価高を背景に大会運営は厳しさを増している。奈良県では、1981 年に創設された「奈良春日・大仏マラソン全国大会」を、フルマラソンを加えた「奈良マラソン」として 2010 年にリニューアルし、今年で第 16 回大会を迎える。

奈良マラソンは、単なる市民マラソン大会にとどまらず、市民の健康づくりやボランティア活動による市民参画と地域の交流、観光振興・経済効果といった多面的な役割を担ってきた。すなわち奈良マラソンは歴史文化都市における大規模イベントとして、運営の実務と社会的インパクトの両面で注目されてきた。本シンポジウムでは、奈良マラソンの事務局を支えてきた 3 名のキーパーソンにご登壇いただき、運営の実際と課題、そして今後の展望について語っていただく。特に「ボランティア体制」「コロナ禍を経た運営の知見」「地域に根ざす仕組みづくり」を柱に議論を深める。

登壇者：鷹田やゆり（奈良マラソン事務局長）、林 潤（奈良マラソンレースディレクター・事務局次長、野田康彦（奈良マラソン元事務局長、奈良県産業創造課長）

＜参加申込・発表申込＞

「一般発表」申込期限：令和 7 年 10 月 30 日（木）17:00

「事前参加」申込期限：令和 7 年 11 月 7 日（金）17:00 ※当日参加も受け付けます。

「一般発表」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。一般発表の申込をされた方は、必ず併せて事前参加申込も行ってください。

「事前参加」申込方法：奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。

学会大会申込み（参加・発表）ページ：<https://nspehss.org/taikai/taikaiform>

令和 7 年度奈良体育学会大会専用メールアドレス（大会事務局）：nara-taikai@nspehss.org

参 加 費：一昨年度より、会員の大会参加費は無料となっています。会員外の方は参加費 1,000 円をいただきます（当日申し受けます）。

＜発表申込様式など＞

*研究発表をされる方（筆頭演者）は奈良体育学会会員（一般・学生）に限ります。共同発表者には会員資格は必要ありません。

*奈良体育学会 HP の申込フォームよりご登録ください。

*発表された方は、下記の「研究年報原稿依頼」の要領で、研究年報に抄録の投稿をお願いします（必須）。また、可能な限り発表内容の「誌上発表論文」へも投稿をお願いします。

＜学生・若手研究奨励賞＞

学会大会では、平成 30 年度より学生および若手研究者の研究を奨励することを目的として、学生・

若手研究奨励賞を設けています。学会大会において行われた一般研究発表を審査対象とし、対象者は、大学院、学部・に所属する学生・研究生の正会員、または年齢が30歳以下の正会員で、当該発表のファースト・オーサーとなっています。令和5年度より、副賞を贈呈することとなりました。学部生、大学院生、その他条件に該当する若手研究者の皆様の積極的な発表申込をお願いします。

＜プログラム詳細・大会要項など＞

詳細なプログラムの内容や学会大会要項等につきましては、学会 HP 及び次回会報でご案内致します。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格を持つ者に限ります。

なお、研究年報は令和5年度よりオープン・ジャーナルといたしました。学会 HP にアップロードしますので、会員の皆様にはそちらからダウンロードしていただくようお願い致します。冊子での配布は行っておりません。また、学会活動(会報)、会則、内規等につきましては、学会 HP にて閲覧してください。

締 切：令和8年1月23日(金) 17:00

提出先：電子メール(添付ファイル)による。

奈良体育学会事務局 奈良教育大学 笠次良爾宛 (E-mail: kasanami@cc.nara-edu.ac.jp)

＜誌上発表論文書式＞

*A4 用紙、40 字×40 行、一段組、図表ともで4～6 枚、上下左右の余白を20mm としてください。

(詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

*原稿は Word とそれを PDF 形式で保存した2種類のファイル(Word と PDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則として PDF ファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。カラー表示が必要な方につきましては、PDF 版においてはカラーでの掲載が可能です。が、国立国会図書館等に収蔵する冊子版については原則としてグレースケールでの掲載となりますので、ご承知おきください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育・スポーツ・健康学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

＜発表抄録書式(今年度の大会発表者用)＞

用紙 A4 で1 枚(図表込み)、本文は2 段組でお願いします。文字フォントは、タイトル14 ポイント、氏名・所属11 ポイント、本文は9 ポイントで記載をお願いします。また、キーワード(9 ポイント)を所属と本文の間に3 語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記の URL にあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は＜誌上発表論文書式＞と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット：<https://nspehss.org/kenkyu-nenpo>

理事会報告

I. 令和7年度 奈良体育学会第1回理事会議事録

日時：2025年4月22日（火）18:00～19:00

場所：Zoom オンライン開催

出席者：井上邦子、笠次良爾、高橋豪仁、田里千代、立正伸、成瀬九美、松井良明（五十音順・敬称略）

○報告事項

1. 会員の動向（敬称略）

本部・支部合わせて、正会員 80 名、名誉会員 4 名、計 84 名（4/22 時点）と報告された

（本部）日本体育・スポーツ・健康学会の会員

（支部）奈良体育学会のみの正会員、名誉会員

本部・支部の会員の人数の詳細については、次回以降の理事会で報告予定

入会者(2025 年度)

情報なし

2. 退会者(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 4 月 21 日まで)

事務局または日本体育・スポーツ・健康学会を通じて動向が分かった者

（本部）現在把握中（次回以降の理事会で報告予定）

2 年間会費未納の者

（支部）現在把握中（次回以降の理事会で報告予定）

○審議事項

1. 新入会員の承認

新入会員の連絡は現時点でないことが確認された。

2. 令和6年度活動報告

令和6年度活動報告がなされ、承認された。

(1) 奈良体育学会会報発行

第94号：学会大会案内号

第95号：学会大会プログラム号

(2) 奈良体育学会総会・学会大会開催（11/24@奈良女子大学）

参加者 25 名+Step 事業 8 名

(3) 『奈良体育学会研究年報』第29号刊行（2025 年 3 月）

(4) ホームページの運用

3. 令和6年度決算案

会計監査が未実施であったため、会計監査実施後に正式に承認することとして決算案の審議を行った。

2024（令和6）年度奈良体育学会一般会計報告書

R6.3.31

<収入>

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
会費	132,000	124,500	7,500	83名
補助金	67,000	67,000	0	JSPEHSSより67,000円
学会大会参加費	0	2,000	△ 2,000	非会員(一般)1,000円、非会員(院生)500円
雑収入	0	2,977	△ 2,977	
利子	0	38	△ 38	
当期収入合計	199,000	196,515	2,485	
前年度繰越金	429,179	429,179	0	
合計	628,179	625,694	2,485	

<支出>

項 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
会議費	10,000	4,925	5,075	
事務費	30,000	32,399	△ 2,399	
通信費	30,000	19,228	10,772	
学会大会・例会費	20,000	10,000	10,000	
研究年報作成費	60,000	44,000	16,000	
アルバイト料	20,000	10,000	10,000	
講演謝礼	50,000	0	50,000	
予備費	408,179	0	408,179	
当期支出合計	628,179	120,552	507,627	
次年度繰越金	0	505,142	△ 505,142	
合計	628,179	625,694	2,485	

令和5年度奈良体育学会基金報告書

R6.3.31

(単位 円)

前年度繰越金	収 入		支 出	現在高	備 考
	積立金	利息			
300,000	0	0	0	300,000	R6/3/31現在高

4. 令和7年度の事業計画

令和7年度の事業計画が提案され、承認された。

(1) 奈良体育学会会報発行

第96号：学会大会案内号

第97号：学会大会プログラム号

(2) 奈良体育学会総会・学会大会開催

(3) 『奈良体育学会研究年報』第30号刊行（2026年3月）

原稿締め切り：未定

オープンジャーナル（ISSNの新規取得済）+保管用冊子20部

投稿者へも冊子配布

(4) ホームページの運用

(5) 令和8・9年度役員選挙

5. 令和 7 年度予算案

令和 7 年度の予算案が提案され、承認された。

[一般会計]

< 収入 >

前年度繰越金	¥505,142	
会費	¥124,500	R6 年度会費納入金額相当
補助金	¥67,000	本部に申請中(助成見込み額、申請は 10 万円)
大会参加費	¥0	R5 年度より参加費無料
雑収入	¥0	
利子	¥0	
合計	¥696,642	

< 支出 >

会議費	¥10,000	
事務費	¥30,000	HP 管理運営費含む
通信費	¥30,000	
学会大会・例会費	¥20,000	若手研究奨励賞副賞を含む
研究年報作成費	¥60,000	PDF 編集ソフト等購入費含む
アルバイト料	¥20,000	
講演謝礼	¥50,000	
予備費	¥476,642	
合計	¥696,642	

6. 学会大会について

- (1) 令和 7 年度の学会大会・総会を、11 月 15 日(土)に奈良女子大学で開催することが決定した。会場の選定を成瀬理事に一任することとなった。

大会シンポジウムのテーマとして以下の候補が上げられた。第 2 回理事会(7 月下旬)にテーマを決定できるよう検討を進めることとした。

(ア) 体育哲学

(イ) 国スポ(令和 13 年=2031 年奈良国スポへ向けて)

(ウ) 工学系(奈良女子大)、技術革新(大阪万博)

(エ) 異分野、異領域の研究

(オ) 身近なテーマ、奈良県内のスポーツイベント

- (2) 若手研究奨励賞

昨年同様に、賞状に加えて副賞を贈呈することとした。

- (3) 懇親会について

昨年と同様に学会会場の教室で実施することとした。

7. その他

次回理事会日程は 7 月 28 日(月)18 時 30 分からオンライン(zoom or teams)で予定

以上

Ⅱ. 令和 7 年度 奈良体育学会第 2 回理事会議事録（案）

日時：2025 年 7 月 28 日（月） 18:30～19:30

場所：Zoom オンライン開催

出席者：井上邦子、笠次良爾、高橋豪仁、田里千代、立正伸、成瀬九美、松井良明（五十音順・敬称略）

○報告事項

1. 第 1 回理事会議事録の確認
2. 会員の動向 ⇒現在把握中（次回の理事会で報告予定）
3. 令和 7 年度地域協力学会助成金・会費について
R7 年度地域協力学会助成金 67,000 円（R6 年度 67,000 円）
R7 年度会費（R6 年度 83 名 124,500 円）
⇒現在把握中（次回の理事会で報告予定）

○審議事項

1. 学会大会について

(1) 開催時期

2025 年 11 月 15 日（土）奈良女子大学

参加費徴収しない

(2) 大会シンポジウムについて

テーマ：奈良県内のスポーツイベント（奈良マラソン）

シンポジスト：

鷹田やゆり（奈良マラソン事務局長）、林 潤（奈良マラソンレースディレクター・事務局次長、

野田康彦（奈良マラソン元事務局長、奈良県産業創造課長）

司会：笠次良爾（奈良教育大学）、高橋豪仁（奈良教育大学）

(3) 若手研究奨励賞について

昨年同様に、賞状に加えて副賞を贈呈する

(4) 懇親会について

昨年と同様に学会会場の教室で実施する

4. 入退会について（敬称略） ⇒現在把握中（次回の理事会で報告予定）

5. 地域協力学会連絡会議（8/28 12:20-13:20）への出席について

⇒田里理事が出席

日本体育・スポーツ・健康学会第 75 回大会中

日時：2025 年 8 月 28 日（木） 12 時 20 分～13 時 20 分

会場：日本体育大学 2501（中会議室）

6. その他

次回理事会は、2024 年 11 月 15 日（土）の学会大会開始前（11:30）を予定。

以上

会員の皆様へのお知らせ【重要】

※令和4年度以降の会報の発行について

学会 HP の運用が始まったことや、学会運営経費の削減のため、今後の会報の配布や学会事務局からの随時のお知らせは、順次、電子メールによる配信に移行させていただくことを考えています。その場合、日本体育・スポーツ・健康学会に所属されている方につきましては、そちらに届け出されているメールアドレスに送信いたします。

現時点でこちらがメールアドレスを把握している方につきましては、郵送と同時に電子メールによる会報の配布も行っています。電子メールにより会報が届いていない方や、奈良体育学会のみの会員の方でまだメールアドレスをお届けいただいていない方につきましては、別途、学会 HP から、または直接、学会事務局(narajimukyoku@nspehss.org)まで、メールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

※研究年報の発行について

研究年報につきましては、令和5年度よりオープン・ジャーナルとして刊行し、ホームページを通じての提供といたします（国会図書館を通じて ISSN 登録されます）。

※ 日本体育・スポーツ・健康学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和7年度の年度会費 1,500 円をお納め下さい。2 年続けて年会費を納入しない正会員の方は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】	郵便振替	口座番号	01000-2-28169
	加入者名	奈良体育学会	